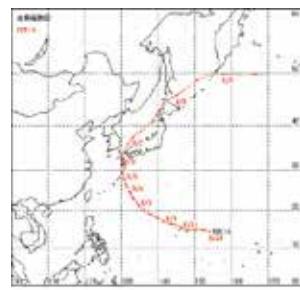




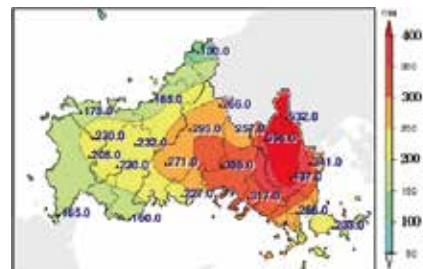
山陽自動車道の崩落(岩国市)



錦川鉄道の土砂崩れ



台風経路図



総降水量分布図



岩国市川西交差点



錦帯橋



美川小中学校共用体育館

気象の概要	<p>■ 台風第14号は、9月6日に長崎県諫早市付近に上陸した後、勢力を弱めながら佐賀県や福岡県を縦断し、20時頃響灘へ出て、夜に山口県の北西岸を経て日本海を北東へ進んだ。</p> <p>■ 1時間降水量は、羅漢山で59mm(6日17時20分)、広瀬で55mm(6日19時10分)、岩国で47mm(6日18時00分)を観測し、6日の日降水量は、7観測点(羅漢山 472mm 玖珂 382mm 広瀬 352mmなど)で観測史上1位を記録した。</p>				
	最低気圧(hPa)	973.3(下関)	最大風速(m/s)	24.0(宇部)	最大瞬間風速(m/s)
被災場所		総降水量(mm)	532.0(羅漢山)	日降水量(mm)	472.0(羅漢山)
被害の規模		1時間降水量(mm)	59.0(羅漢山)		
被害の特徴		<p>■ 台風第14号は、山口県の西の海上を経て、日本海を北東へ進んだため、県内全域で雨が強まり、特に中部、東部では22時頃まで激しく降り、錦川流域では高速道路の法面の崩壊による人的被害や、床上浸水などの住家被害が多数発生した。</p>			



台風が接近・上陸すると、大雨、洪水、暴風、高潮などをもたらすんだ。特に、傾斜の急な斜面や川の近くでは、台風による大雨によって、がけ崩れや土石流、河川の氾濫が発生しやすくなるから注意してね。

体験談 『高校生を話し相手に笑顔のおばあちゃん ～集落総出でボランティア～』

岩国市 女性 看護師

被災した集落では、そこに住む人たちが総動員で水害のあと片づけをやりました。家がどっぶり水に浸かっているのに、毎日毎日救援物資を配る手伝いをしてくれたおばあちゃんもいました。配って歩いているから、自分の家に救援物資が来たときに受け取る人がいなかつたというおまけ付きでね。

中学生、高校生も手伝ってくれました。「もう、あんたら一緒にお茶飲もうや!」と言って、高校生とお茶を飲んでいるおばあちゃんが一番嬉しそうでした。私たちが泥かきするよりもずっと。

やっぱり、しゃべりたかったんです。命はかろうじて助かったもの、家中泥だらけになって何から手をつけたら良いかもわからず不安がいっぱい。そんな時、孫みたいな高校生と話をするだけで、すごくホッとしたんだと思います。

内閣府『1日前プロジェクト』より転載



ボランティアの状況

体験談 『ボランティアを受け入れてもらうのも大変 ～お年寄りの警戒心高く～』

岩国市 女性 看護師

被災したのは、川沿いに家がポツポツと 20 軒ぐらい点在している集落でした。当時、ボランティアさんたちが片づけに来てくれたなんだけれど、「ありがとうございます」と丁寧に断ってるの。目が「お家に入らないで」と言っている。助けが無かったら片づく訳ないのを分かっているのに。

「でも、お婆ちゃんどこで寝るの?」と言うと、「2 階はかつかつ無事やから、濡れてはおるけど、ちょっと濡れてないスペースに布団敷いて寝る。土日になったら、東京と大阪から息子らが来るから」って。土日までまだ 5 日間ぐらいあるのに。

40 代のご夫婦と 70 代の老夫婦では全然違うんですよ。人手が来たら、「ほんなら片づけてもらおうね」と前向きに言われるのは 50 代ぐらいまで。70 代になると、放心状態になっている上に、よそから来た人に対する警戒心が強いんです。

幸い、私はこの地域で育った身ですから、「ああ、あんたあそこんとこの娘さんかね」という話から、お掃除を始めることができました。身近な人の顔が無かったら、ボランティアさんたちも片づけに入れんことも多いのです。



錦川流域

内閣府『1日前プロジェクト』より転載



関係する石碑

いわくにしみかわちょう
岩国市美川町には、台風第14号が接近したときの最高水位が表示されているよ。

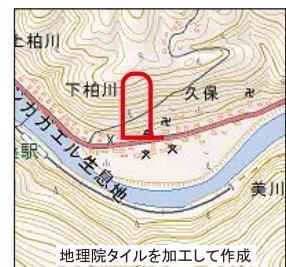
【台風 14 号最高水位】

岩国市や美川町(現岩国市美川町)では、錦川が氾濫し、深いところで 2m を超える浸水深となり、2,000 戸を超える家屋の浸水被害が発生した。

岩国市美川町には、当時の浸水水位が表示されている。



台風 14 号最高水位(岩国市美川町)



地理院タイルを加工して作成